

埼玉国際協力協議会（埼玉NGOネット）

2004年度事業報告

1. 第5回・開発教育指導者セミナー「学校と地域で育む国際理解・開発教育」

(1) 川口会場：～地域から世界が見える～

日 時：2005年2月12日（土）午前10：00～午後4：30

場 所：川口リリア 11F大中会議室・10F和室

主 催：埼玉国際協力協議会（埼玉NGOネット）

独立行政法人 国際協力機構 東京国際センター（JICA 東京）

協 力：財団法人 埼玉県国際交流協会

後 援：埼玉県、埼玉県教育委員会、川口市、川口市教育委員会

参加費：無料

内 容：1) 開会あいさつ

埼玉NGOネット（尾嶋） JICA 東京（松本） 川口市教育委員会（相上教育長）

2) 基調発題「開発教育の目指すもの」 拓殖大学国際開発学部教授 赤石 和則

3) JICA プログラム参加教育による事例発表

・青年海外協力隊現職参加教員 さいたま立大戸小学校教諭 駒井 栄美子

・教師海外研修参加教員 春日部市立緑中学校教諭 石井 利明

4) 地域NGOからの事例発表「川口から世界が見える」

特定非営利活動法人 川口国際交流クラブ 副理事長 尾浜 啓子

5) 分科会

第1分科会：「フィリピン・ボックスを通して見えてくる地域と世界」

ファシリテーター 出口 雅子（ピナツボ復興武蔵野ネット）

第2分科会：「学校現場から世界が見える」

ファシリテーター 尾嶋 佐和子（埼玉国際協力協議会代表）

・「世界に目を向けよう」授業実践例

リソース・パースン 古山 三保（川口市立上青木中学校教諭）

・「外国籍生徒と共に学ぶ高校」現状と課題

リソース・パースン 中島 恒雄（埼玉県立和光国際高等学校教頭）

第3分科会：「開発途上国の地域から見えてくるもの」

ファシリテーター 白井宏明（JICA職員）

第4分科会：「地域の外国籍市民との共生を目指して」

ファシリテーター 金 迅野

リソース・パースン 合地 仁美（川口・日本語教室主宰）

6) 全体会（パネルディスカッション）

ファシリテーター 赤石和則

各分科会参加者代表からの報告

各分科会ファシリテーターによる振り返り

全体のまとめと今後の展望

参加者：合計111名（スタッフ+講師：30名、一般参加者：81名）

\* 教員：33名、\* 学生：15名、\* NGO関係者：37名、\* その他一般：7名、

\* JICA関係者：6名、\* 埼玉県国際交流協会関係者：8名、\* 川口市関係者：5名

事業の成果：全県から、さまざまな立場の異なる人たち、また高校生から70代まで幅広い年代の人たちが一同に会し、全員が立場や年齢を超えて熱心に学び、考え、語り合うことが出来た。参加者は、一日の濃い内容のプログラムの中から、「国際理解教育・開発教育の目指すもの」「様々な立場や地域から世界が見える」こと等について、それぞれが有益なヒントを持ち帰り、今後各自の立場でそれを活用していただけることが期待される。また、参加者同士のネットワーク作りにも寄与したと思われる。

## （2）所沢会場：～「国際理解教育・開発教育」実践のために～

日時：2005年2月26日（土）午前10：30～午後5：00

場所：埼玉YMCA所沢センター 会議室

主催：埼玉国際協力協議会（埼玉NGOネット）

独立行政法人 国際協力機構 東京国際センター（JICA 東京）

協力：財団法人 埼玉県国際交流協会

後援：埼玉県、埼玉県教育委員会

参加費：無料

内容：1）主催者開会あいさつ 埼玉NGOネット（尾嶋）、JICA 東京（本田）

### 2）基調発題

「川口会場セミナーから見えてきた今後の課題」 赤石 和則

「国際理解教育・開発教育 実践の課題」 小貫 仁（開発教育協会理事）

3）参加者による小グループ討論「今日話し合いたい課題・対応の模索」 小貫 仁

### 4）ワークショップ

「日本の中の多文化共生・より良い多文化共生を目指して」

アクティビティ実践：拓殖大学ファシリテーター養成コース2004 修了者

（須田優子、服部由紀、森田昭、森島江美子）

### グループ・ワーク

ファシリテーター：石川 一喜（拓殖大学国際開発センター講師）

\* 持続的な学びをどう作るか \* 年間計画・カリキュラム

\* 情報へのアクセスと活用 \* 活動の場

\* 学校・地域・NGOとの共有・還元・つながり

### 5）全体会（パネルディスカッション）

「国際理解教育・開発教育 推進のために」

ファシリテーター：赤石 和則（拓殖大学国際開発学部教授）

パネリスト：小島 章裕（埼玉県国際理解教育研究会会長）

小貫 仁（開発教育協会理事）

本田 勝（JICA 東京 開発教育担当）

尾嶋 佐和子（埼玉国際協力協議会代表）

参加者：合計35名（スタッフ+講師：21名、一般参加者：14名）

\* 教員：12名、\* 学生：5名、\* NGO関係者：10名、\* その他一般：3名、

\* JICA関係者：2名、\* 埼玉県国際交流協会関係者：3名

事業の成果：少人数の経験者を主たる対象として、より深い内容で「国際理解・開発教育の実践のために」学び合いを行った。参加者がそれぞれの立場や地域で、実際にファシリテーターとして実践していくための学習になったと思われる。

## 2. 「会員の集い」

日時：2005年1月8日（土）夕方～9日（日）午前中

場所：ときわ会館（浦和・さいたま市役所そば）

参加者：延べ27名（NGOネット会員：19名、非会員：8名）、宿泊：11名

内容：夕食会、研修会（各自の活動紹介）、夜の懇親会、宿泊、朝食、  
NGOのあり方等について話し合い

総括：ネット会員だけでなく、JICA国際協力推進員、拓殖大学国際開発教育センター講師、県庁国際課職員、埼玉県国際交流協会職員・関係者、さいたま市教育委員会の人、その他など、外部からも国際協力に関心のある人たちの参加があり、楽しく充実した時間を共有することを通して、人や組織のネットワークを広げることができた。やはり近場で日帰りも可能という条件が良かったようだが、日帰り組の人たちが夜は11時で引き上げざるを得なかったのは、少し残念だった。

## 3. 県・国際課によるNGO支援「海外技術研修生受入事業」研修生推薦・研修終了

推薦2団体：（特活）国際協力NGO・IV-JAPAN、（特活）メイあさかセンター

推薦研修生：ラオス人男性（IV-JAPAN推薦）

マレーシア人女性（メイあさかセンター推薦）

研修期間：2004年5月半ばから6ヶ月間（研修終了）

総括：2004年度より国からの予算が0になったため、規模を半分に縮小し埼玉県独自の事業として実施することになった。4名程度の研修生のうち1名の推薦枠がNGOネットに提供されることになったが、2004年度は2名の推薦が受け入れられた。引き続き2005年度も1名の推薦枠が与えられたので、2004年度中に、埼玉YMCAのフィリピン男性の推薦が決定した。

## 4. 県・国際課による「彩の国国際貢献賞」に2団体推薦・受賞

受賞2団体：特定非営利活動法人 民族フォーラム、和光国際交流会

表彰式：2005年2月4日（金）浦和コルソ7階ホール、「国際協力講演会」会場にて。

## 5. 「高校生・NGOインターンシップ事業」（2年目）受入れ7団体

受入れ団体：インフォメーション草加、（財）埼玉YMCA、（財）日本ユニセフ協会埼玉県支部、（特活）ふじみの国際交流センター、（特活）民族フォーラム、（特活）メイあさかセンター、和光国際交流会

内 容 : 事前ガイダンス(7月17日) 活動体験(7~12月、3~5日間) 体験報告・交流会(1月22日) 報告書発行(3月)

総 括 : 今年度より、当協議会が受入れ窓口ではなくなり、外からも4団体が受入れたが、ネット会員団体が昨年度の実績を生かし、今年度も中核となり大きな成果を上げた。

## 6. 県・国際課による県内NGO(国際交流・国際協力団体)活動状況調査に協力

調査活動実施に当たり、アンケートの内容・調査活動実施の方法・調査員の推薦などについて、当ネットとして国際課より相談を受け協力をした。年度内に県内NGO一覧の冊子が発行されると同時に、県のホームページ上にも掲載されている。

## 7. ホームページ管理運営(開設:2004年1月)

URL: <http://www.saitama-ngonet.org/>

内 容 : 埼玉国際協力協議会(埼玉NGOネット)とは 最新のニュース 会則 これまでの活動 活動予定(2004年度活動計画) 会員紹介 リンク集 など

担 当 : 宮崎、(掘)尾嶋

## 8. 定期総会

日 時 : 2004年6月15日(火) 午後7時~8時

場 所 : 埼玉YMCA浦和センター 会議室

出 席 : 9団体・6個人

議 題 : 2003年度事業報告、2003年度収支決算、2004年度事業計画、2004年度役員、2004年度収支予算、会則の一部変更

## 9. 会員定例会

日 時 : 原則として毎月第3火曜日、午後6:30~8:30

場 所 : 埼玉YMCA浦和センター会議室

出席者 : 2004/4/20(15名) 5/18(23名) 6/15(21名) 7/13(11名)

9/21(11名) 10/19(12名) 11/16(13名) 12/7(14名)

2005/1/18(15名) 2/8(14名) 3/15(15名)

(\* 時々、JICA・県国際課・新聞記者など会員以外の出席もあり)

## 9. 三者協議会

### (1) 年度はじめの顔合わせ交流会

日 時 : 2004年5月18日(火) 午後4:15~5:30

場 所 : 埼玉県国際協力プラザ会議室(県国際交流協会内)

参加者 : 31名(NGOネット:20名、県国際課:3名、県国際交流協会:5名、

JICA 東京:3名)

成 果 : 定例会に出席したことのない会員も何名か出席して、他団体との交流を楽しんでいた。先ずはお互いに顔を合わせ知り合うことが重要なので、開催目的は達成できた。

## (2) 定例三者協議会(含む・JICA東京)

日 時：2004/5/18(午後3:00~4:00)、7/13(午後3:30~5:00)、  
9/21(午後3:30~5:00)、11/16(午後3:30~5:00)、  
2005/2/15(午後3:30~5:00)

場 所：埼玉県国際協力プラザ会議室(県国際交流協会内)

参加者：NGOネット役員：11名中平均8~9名

(尾嶋、山木、桑原、赤石、尾池、山本、荒田、井上、山尾、猪俣、岡野)

県国際課：4~5名、県国際交流協会：2~3名、JICA東京：1名

内 容：県国際課・県国際交流協会・NGOネット・JICA東京の諸事業について、相互の協力依頼、率直な意見交換、相談など。

成 果：2001年度より3年間は毎月開催されていたが、2004年度より原則、隔月開催となった。今年度より回数は減少したが、三者協議会という場が継続的に持たれているお陰で、NGOネットが県内唯一の全県NGOのネットワーク組織として、堂々と意見を述べて来られた。また、相互の情報交換や協働関係も、それぞれの活動にとって貴重である。

## 10. 「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」幹事団体・アドバイザー

2000年度の途中で発足した「彩の国・・・ネットワーク」は、NGO代表5団体、市町村代表5団体が幹事団体となり、県国際課・県国際交流協会が事務局となって様々な事業を展開している。2003年度まではNGOネットが代表幹事団体となり、年3回の幹事会・年3回の全体会の議長を務めてきた。2004年度は代表幹事団体を交替したが、相変わらず幹事団体の一角を担った。また、NGOネット世話人の赤石氏と副代表の山木氏は、アドバイザーを務めた。